※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 3028 |
|---|---|

# 令和５年度　国語科

| 教科 | 国語 | 科目 | 言語文化 | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 高等学校　言語文化（第一学習社） | | | | | | |
| 副教材等 | 基礎からのジャンプアップノート古典文法・演習ドリル（旺文社）、新版理解を深める核心古文単語 351（尚文出版）、漢文の習得 三訂版対応　漢文基本ノートα（浜島書店） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会生活を豊かにする高い国語力、人生を豊かにする教養を身に付けましょう。
・さまざまな文章を読み、考えることでものの見方や捉え方を広げましょう。
・ペアワークやグループワークに積極的に参加し、自分の思いや考えを深めるとともに、それを相手に伝える経験を積みましょう。
・古典作品に親しむとともに、心情を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身につけましょう。また、作品の歴史的背景についての理解を深めましょう。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には復習も欠かさず行いましょう。

## ２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

（１）　生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

（２）　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

（３）　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a　知識・技能 | b　思考・判断・表現 | c　主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。 | 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 | 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようとしている。 |

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

| 学期 | 単元の学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1 | 時間の経過による文字の変化について理解する。<br>［教材］<br>『宇治拾遺物語』<br>「児のそら寝」<br>「絵仏師良秀」 | a：歴史的仮名遣い、文語と口語の違い、古典文法の基礎について理解している。<br>b[読]：古語の意味を確認しながら、場面状況や登場人物の心情を読み味わっている。<br>c：古文に親しみを持ち、話の面白さを理解しようとしている。 | ワークシート<br>小テスト<br>定期考査 | ワークシート<br>ノート<br>定期考査 | ワークシート<br>観察 |
| | 古文を読むために必要な文語の決まりを理解する。<br>［教材］<br>『伊勢物語』<br>「芥川」<br>「筒井筒」 | a：用言の活用について理解している。<br>b[読]：場面状況と登場人物の行動や心情を把握し、話の展開を理解している。<br>c：登場人物の心理を読み取り、歌物語の特徴を理解しようとしている。 | | | |
| | 漢文を読むために必要な訓読の決まりを理解する。<br>［教材］<br>訓読に親しむ㈠、㈡、㈢ | a：漢文訓読に必要な決まりを理解している。<br>b[読]：現在も生きている格言、成句や故事の意味を理解している。<br>c：漢文を日本語として読む工夫とその意義を理解しようとしている。 | | | |
| | 作品の歴史的・文化的背景を理解する。<br>［教材］<br>「漁父之利」<br>「蛇足」 | a：訓読の決まりや句法、作品の時代背景について理解している。<br>b[読]：平易な漢文を繰り返し音読し、内容を正確に理解している。<br>b[書]：故事成語の由来と意味を調べ、正しい使い方を示す説明文を書くことができる。<br>c：漢文に関心を持ち、音読などを積極的にできている。 | | | |
| 2 | 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。<br>［教材］<br>『土佐日記』<br>「門出」<br>「帰京」 | a：助動詞、助詞について理解し、口語訳に生かすことができる。<br>b[読]：文章の展開や表現技巧に対する作者の工夫を理解し、作者のものの見方・感じ方をとらえることができる。<br>c：表現や当時の風習などを踏まえ、作者の心情を理解しようとしている。 | ワークシート<br>小テスト<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>ノート |
| | 作品に表れているものの見方や考え方を捉える。<br>［教材］<br>『徒然草』<br>「ある人、弓射ることを習ふに」<br>「九月二十日のころ」 | a：敬語について理解し、口語訳に生かすことができる。<br>b[読]：表現・文章の構成・展開に着目しながら、作者の思想や人間観を理解している。<br>c：内容を踏まえて作者のものの見方や考え方を理解しようとしている。 | | | |
| | 我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 | a：和歌の修辞技法や優れた表現を理解している。 | | | |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | ［教材］<br>『万葉集』<br>『古今和歌集』<br>『新古今和歌集』 | b[読]：和歌を詠み味わい、情景、心情などを描写に即して読み取ることができる。<br>c：和歌を繰り返し音読し、その韻律や内容を理解しようとしている。 | | | |

４　学習の活動

| 学期 | 単元の学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 2 | 古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。<br>［教材］<br>「古典の和歌を現代の言葉で書き換える」 | a：言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。<br>b[読]：作品の内容を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。<br>b〔書〕：古典の和歌を三十一文字の現代語に訳し、グループ内で互いの解釈を伝え合うことができる。<br>c：内容が明確で、他者に効果的に伝わるよう表現の仕方を工夫している。 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>発表原稿<br>定期考査 | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 近現代の詩歌に親しむことで、言語感覚を磨く。<br>［教材］<br>近現代の詩歌<br>「一つのメルヘン」<br>「I was born」<br>「その子二十」<br>「こころの帆」 | a：詩歌の表現形式や修辞について理解している。<br>b[読]：描かれている情景や心情などを捉え、詩歌独特の韻律や言葉の美しさを深く味わうことができる。<br>c：作者が切り取った世界観を感じ、その表現を味わおうとしている。 | | | |
| 3 | 我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。<br>［教材］<br>『十八史略』<br>「完璧」<br>「先従隗始」 | a：句法や語法、作品の時代背景について理解している。<br>b[読]：巧みな比喩による論理的な展開に注目しつつ、主張を理解している。<br>c：文章に描かれている人物の考えや論理の巧みさを読み味わおうとしている。 | ワークシート<br>小テスト<br>定期考査 | ワークシート<br>発表原稿<br>定期考査 | ワークシート<br>ノート<br>振り返りシート |
| | 歴史的な文体の変化について理解する。<br>［教材］<br>『平家物語』<br>「祇園精舎」<br>「木曽の最期」 | a：軍記物語に特徴的な音便表現や敬語について理解している。<br>b[読]：源平の戦いの歴史的な流れを理解し、生と死をめぐる人間のあり方について考えを深めることができる。<br>c：朗読を通して和漢混淆文を味わい、人間の生き方についての考えを深めようとしている。 | | | |
| | 我が国の伝統文化に対する理解を深める。<br>［教材］<br>伝統と文化<br>「人形浄瑠璃文楽－三業一体の技」 | a：我が国の伝統芸能に対する基礎的な内容を理解している。<br>b[読]：文章の内容を理解し、人形浄瑠璃文楽に対する理解を深めている。<br>b〔書〕：自分の思いを明確にし、効果的に伝わるよう表現の仕方を工夫している。<br>c：自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の伝統芸能や言語文化について自分の考えをもとうとしている。 | | | |

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

※令和４年度以降入学生用

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ・話すこと／聞くこと | … | | （　　０　　） | 時間 |
| ・書くこと | … | | （　５　～１０　） | 時間程度 |
| ・読むこと | … | 【古典】 | （　４０～４５　） | 時間程度 |
| | | 【近代以降の文章】 | （　２０　　） | 時間程度 |